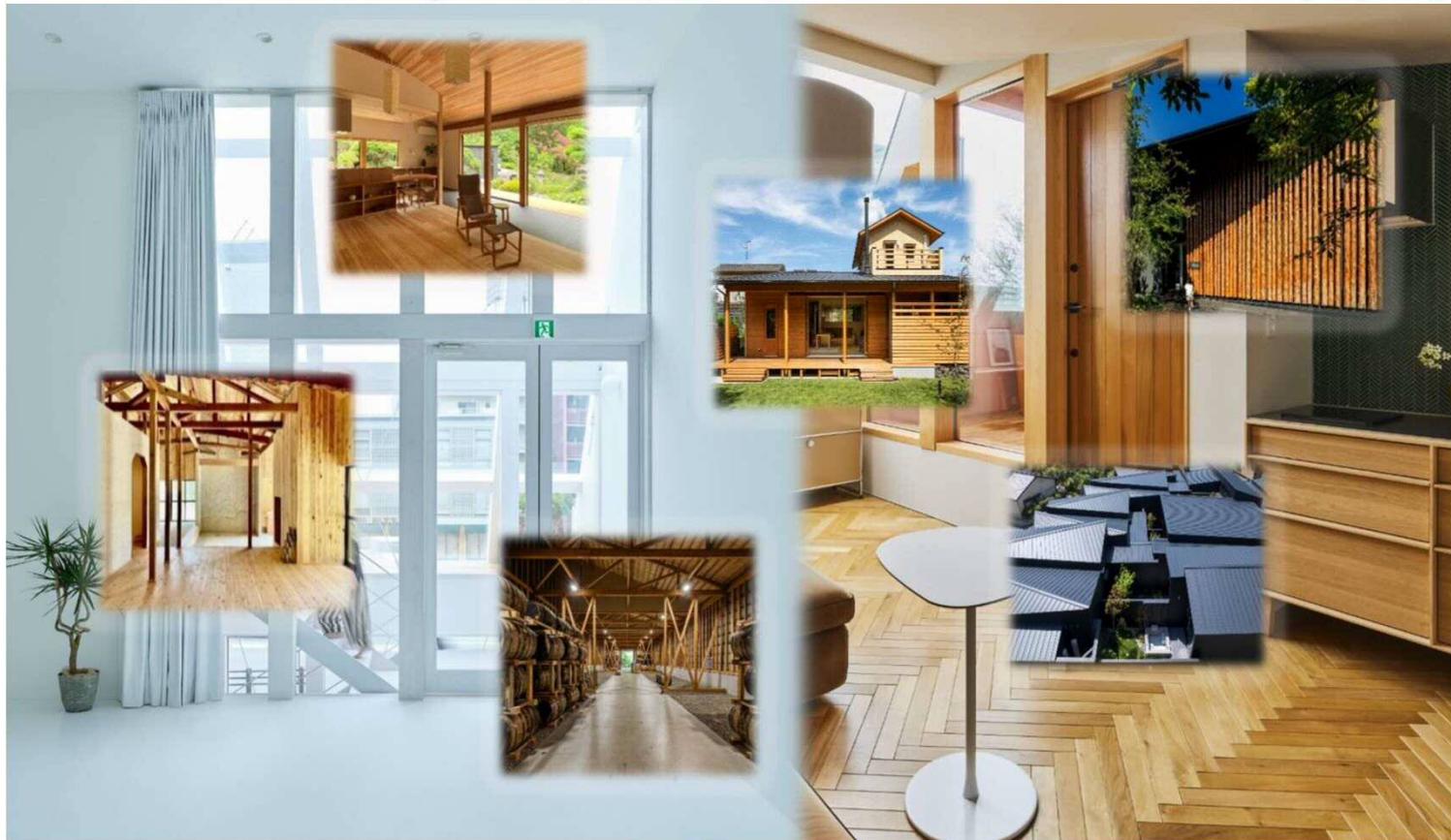




Oita
Wood Architecture
Award 2025

おおいた 木の良さを生かした建築賞



■ご挨拶

大分県木造住宅等推進協議会 会長
幸 勝美

大分県木造住宅等推進協議会は、大分県の気候・風土・文化に適合した良質な木造住宅等の生産供給の促進と、地域住宅産業の進行を図ることを目的として昭和60年に発足しました。翌年に良質な木造住宅の顕彰を図るため「豊の国木造住宅賞」を創設し、その後名称を「豊の国木造建築賞」に改め、そして平成29年度からは「おおいた木の良さを生かした建築賞」として、今日まで約40年間県下の良質な木造住宅の推進に一定の役割を果たしてまいりました。

さて、今回は新築部門が22作品、リフォーム・リノベーション部門が7作品、そしてインテリア・ファニチャー部門が7作品と、県内各地から合計36作品のご応募をいただきました。その中から、書類選考と現地審査、さらに最終選考を経て、最優秀賞を2点、優秀賞を4点、そして入賞を7点の合計13点を受賞作品として決定したところです。社会問題や地域での課題を建築という器の中で、木造が備えている利点を最大限に活用してその解決策につなげている作品もみられ、いずれも意欲的なデザインであったとの感想を抱いております。

お忙しい中、作品をご応募いただいた皆様にあらためて感謝申し上げますと共に、受賞された皆様には、心よりお祝い申し上げます。

結びに、本協議会の事業の推進につきまして、今後、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

■審査総評

おおいた木の良さを生かした建築賞2025 選考委員長
末廣 香織

2025年度の本賞には、新築22、リフォーム・リノベーション7、インテリア・ファニチャー7、合計36件の応募がありました。応募書類での一次審査を経て、合計13作品が現地審査に進み、二次審査での議論の結果、最優秀賞2作品、優秀賞4作品、入賞7作品が決定いたしました。

今回最優秀賞を受賞した2作品は、どちらも一般的な木の建築のイメージとは異なるものになりました。「写真スタジオ Ängel nini」は、一見すると木造に見えない抽象的でスマートなイメージの建物ですが、都市内の木造建築に新しい可能性を開いたことが評価されました。「おがたこども園」は、主体構造は鉄筋コンクリートなのですが、木造屋根架構や木製の家具建具が作り出す温かみのある木の空間が印象的でした。優秀賞を受賞した作品もそれぞれ魅力的でした。「STAY玉の湯」は、地域環境に溶け込んだ建築の佇まいを持つものでしたし、二つの住宅は、どちらも自然素材を使った木造住宅の魅力を最大限に高めたものでした。また「Haru+」は、必要最小限の改修によって、古民家の価値を高めて地域のために活用する取り組みでした。

今回の審査を通じて、リノベーション作品に魅力的なものが増えたことが印象に残りました。人口減少や空き家問題を考えた時、既存建物の有効活用は大きな社会のテーマです。今後こうした流れが大きくなって行くことは自明ですが、魅力的な街並みや建築資産を作って行くためには、今後優れた事例が増えてゆくことが求められます。本賞にもさらに多くの優れたリノベーションやコンバージョン作品を応募いただけることを期待しています。

●おおいた木の良さを生かした建築賞2025概要

【主催】 大分県木造住宅等推進協議会

【共催】 大分県

【応募期間】 令和7年5月30日(金曜日)～令和7年9月12日(金曜日)

【対象建築物】

内容	部門		新 築		リフォーム・ リノベーション※1	インテリア・ファニチャー (内装木質化、家具製作等)※2	
	構造	用途	住宅	非住宅	住宅	非住宅	
構造			木	造	木	造	問わない
用途			住 宅	非住宅	住 宅	非住宅	問わない
建設地	大分県内						

概ね過去5年以内に完成したものを対象とする。

過去に「豊の国木造建築賞」「おおいた木の良さを生かした建築賞」へ応募した作品は対象外とする。

※1 リフォーム・リノベーションとは、増築、改修、模様替え等をいう。

※2 インテリア・ファニチャー(内装木質化、家具製作等)は、新築、リフォーム・リノベーションを問わない。

【応募資格】

対象建築物の建築主、設計者、施工者のいずれか

【審査基準】

- ・木の素材を生かした意匠等
- ・建築物の美しさ、街並みや景観との調和
- ・優れた建築技術
- ・環境への配慮
- ・建設コスト縮減への工夫
- ・建築物の機能性、プランニング、ユニバーサルデザイン

【選考委員】

末廣 香織	委員長	九州大学大学院人間環境学研究院 教授
有馬 晋平	委員	造形作家
川田 菜穂子	委員	大分大学教育学部 教授
志賀 和美	委員	有限会社堀木材 取締役
柴田 建	委員	大分大学理工学部 准教授
八坂 千景	委員	iichiko総合文化センター企画普及課 副課長

■R7(2025) 入賞作品一覧

表彰	部門	用途	建物名	所在地	建築主	設計者	施工者
最優秀賞	新築	幼保連携認定こども園	豊後大野市 おがたこども園	豊後大野市	豊後大野市	NKS2アーキテツ	建築: 恵藤建設(株) 電気: 株式会社山村電設工業 設備: 株式会社川辺工業
		写真スタジオ	Ängel nini	大分市	株式会社 Lilo	伊藤憲吾建築設計事務所	株式会社 平野工務店
優秀賞	新築	ホテル・旅館	STAY玉の湯	由布市	株式会社 玉の湯	スピングラス・アーキテツ	株式会社 佐伯建設
		住宅	津守の家	大分市	長野 貴将	株式会社七王建築設計事務所	株式会社七王建築設計事務所 住宅事業部 エポックホーム
		住宅	食を彩る別府の家	別府市	西村 尚之	シーナリーハウス + 幸野成一建築研究所	シーナリーハウス
	リフォーム・リノベーション	福祉施設	Haru+	竹田市	特定非営利活動法人 TetoCompany	伊藤憲吾建築設計事務所	有限会社 川野組
入賞	新築	ホテル	HOTEL DO-YA BEPPU	別府市	菱甲産業 株式会社	隈研吾建築都市設計事務所	菱甲産業 株式会社
		ウイスキー 貯蔵庫	久住蒸溜所第3熟成庫	竹田市	有限会社 津崎商事	Grandhouse Labo× ORTCO DESIGN 設計共同体	-
		住宅	宇佐の家	宇佐市	個人	室宏アトリエ	株式会社 いろは建築技巧
	リフォーム・リノベーション	住宅	鶴河内の家	日田市	平川 正博	松本設計 松本 孝充	株式会社 Knot建築企画
		セカンド ハウス	TAKENAKA HOUSE	大分市	竹中 真希子	松田周作建築設計事務所	簀原原淳
	インテリア・ファニチャー	駅舎・ 駅前広場	JR柳ヶ浦駅周辺地区整備	宇佐市	宇佐市	設計共同体・合同会社アトリエ T-Plus建築地域計画工房 + 株式会社WAO渡邊篤志建築設計 事務所+ 株式会社風景工房	株式会社 奥田組
		住宅	上野丘の改修	大分市	室 宏	室宏アトリエ	株式会社 是永ホーム

最優秀賞

新築 【豊後大野市 おがたこども園】

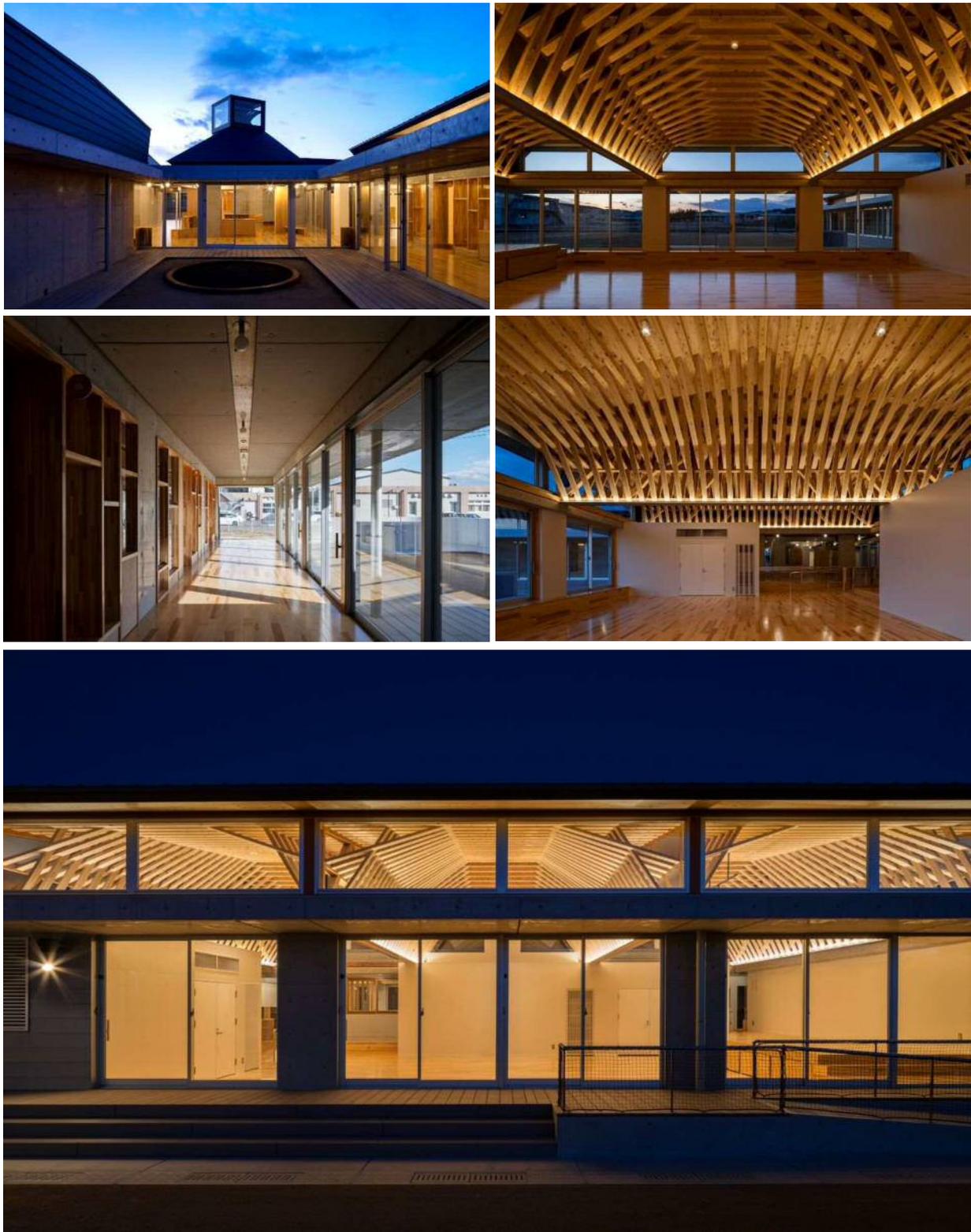


作品データ

所在地：豊後大野市
用途：幼保連携認定こども園
建築主：豊後大野市
設計者：NKS2アーキテクト
施工者：恵藤建設 株式会社、株式会社 山村電設工業、株式会社 川辺工業
延面積：1077.27㎡

設計趣旨

田園風景になじむ小さな建物が集まっているような外観。高価な集成材を使わずに一般流通材の方杖が2つの角度で中央部に徐々に折りが上がった構造とし、かごを編んだようなアーチ状の天井が特徴的である。保育室や職員室、遊戯室などの部屋の天井は高くハイサイドから自然光が入り昼間は照明を必要としない。廊下の天井は低く抑え、南側の深い庇で夏は日射しをおさえ、冬は温かい光が差し込み、一年中、子どもたちは廊下で遊ぶことができる。また、廊下と部屋の間仕切りも木製とし、ふんだんに温もりを感じる空間となった。



選 評

子どもたちの暮らしを優しく包み込む大きなかごのような屋根は、杉を中心とした一般流通材で構成され、材料コストや工期短縮に配慮されており、そのユニークな姿から建物内に楽しい印象をもたらしている。内装は、子どもたちが触れる建具や家具が棚やベンチとしても使用できるよう機能的に木質化され心地よい。共用部には、大きな遊戯室や絵本コーナーが配され、子どもたちが室内でのびのびと遊ぶことができ、子どもそれぞれの居場所が存在するように構成されている。木の良さを生かして子どもの健やかな生活環境と遊びの場を作り上げていることなどが高く評価され最優秀賞となった。

最優秀賞

新築【写真スタジオ Ángel nini(アンヘルニニ)】

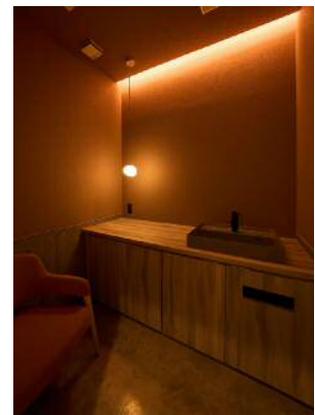


作品データ

所在地：大分市
用途：写真スタジオ
建築主：株式会社 Lilo
設計者：伊藤憲吾建築設計事務所
施工者：株式会社 平野工務店
延面積：180.92㎡

設計趣旨

自然光で撮影できる写真スタジオとして計画された木造ビルであり、準防火地域における準延焼防止建築として整備された。北側採光や斜めトップライトにより直射を抑えつつ柔らかな自然光を最大限に活用し、四季や天候により変化する光を写真表現として受け入れることで、この地域でしか生まれない写真文化を育てている。鉄骨造から木造への転換を図り、CO₂固定化と環境負荷低減に寄与する都市木造のモデルとして位置づけた。在来工法を採用することで、特殊解に頼らず地域の施工体制と技術継承に結びつく木造化を実現している。道路側の階段吹抜は災害時の明快な避難経路であると同時に、上下へ光が通り抜ける空間装置として機能し、都市的環境における木造建築の新たな可能性を示している。



選 評

都市中心部に建つ木造3階建ての写真スタジオです。軒の高さが9mを超える木造建築は、防火などの規制が非常に厳しくなります。この敷地条件で十分な天井高さを持つスタジオ空間を確保するために、1階部分の床レベルを少し下げることによって、木造3階建ての建築を実現しています。写真スタジオで自然採光を生かすには、北側からの柔らかい天空光が必要です。その役割を果たす北側道路に面した大きな窓が、街にアピールする表情を作っています。またこの光に色を付けないために、控え室などとして使う3階以外の室内の壁や天井は全て白で統一されています。結果として、この建物は一見すると木造の建物には見えないのですが、都市の木造建築の新しいイメージを開拓したと言えます。

優 秀 賞

新築

【STAY玉の湯】



Photo: Yousuke Harigane



作品データ

所在地：由布市
用途：ホテル・旅館
建築主：株式会社 玉の湯
設計者：株式会社 スピングラス・アーキテクト
施工者：株式会社 佐伯建設
延面積：762.47㎡

設計趣旨

小ぶりな家屋が多い環境に調和しようと、STAY玉の湯は平屋でボリューム感を抑えた佇まいを目指した。小さな住宅が肩を寄せ合う「集落」のような姿をつくるうえで、構造を木造とする選択は自然な流れだった。道路に面する客室群の屋根は、斜めに掛けた棟(むね)を中心に左右に折られ、2室がペアとなって繰り返す。その結果生まれた屋根のリズム感は周囲ともよく馴染んでいる。大浴場などの棟にもさまざまな屋根勾配を組み合わせ、室内の天井に、長期滞在の宿に相応しい伸び伸びとした高さで変化を与えることができた。

選 評

由布市・湯布院温泉に建つ「STAY 玉の湯」は、木の温もりを生かした平屋造りの滞在型宿泊施設で、各室から由布岳を望む配置や、自宅の一室のように落ち着いた客室、明るく開放的なラウンジが心身を癒す空間をつくり出しています。隣接するクリニックや介護福祉士などの資格を持つホテルスタッフによる受入体制も万全。外壁の高さや明かりの工夫により街並みにも配慮され、オーナーと建築家の細やかな視点が生きた、地域に開かれた建築となっています。

優 秀 賞

新築

【津守の家】



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：長野 貴将
設計者：株式会社 七王建築設計事務所
施工者：株式会社 七王建築設計事務所 住宅事業部 エポックホーム
延面積：188.19㎡

設計趣旨

新築でありながら地域に溶け込む、庭と共にあり続ける木の家をテーマとして設計した。南北に奥行きが長い敷地、その南側には緑豊かな標高の低い山がある。京町家の通り庭や坪庭を参考に、前庭、中庭、縁側、奥庭、山の緑の連続の中に家が溶け込み、屋内と屋外が曖昧で、住まう家族、子供たちの身近に緑がある生活を想像して窓を配置した。また、周囲の緑との溶け込み感、相性を考慮して床や天井、軒天などの仕上げに日田杉をふんだんに使用した。全体的に軒をしっかりと出すことで雨の日でも庭や地域の緑が楽しめる家となっている。

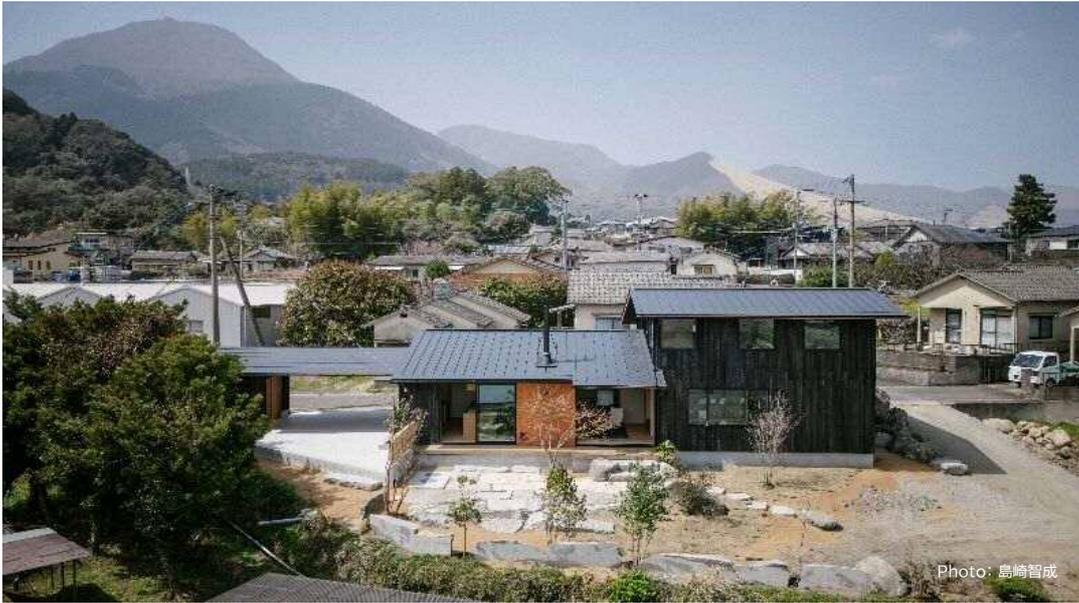
選 評

内外装に杉を多用した温かみのあるしつらえでありながら、破風や鼻隠しをスリムに、階高を抑えた設計により、洗練された佇まいを実現しています。敷地条件をふまえた軒の出や通気断熱WB工法の採用、間伐材を燃料とする薪ストーブの活用など、木の素材を生かしつつ、環境性能にも十分に配慮しています。
とくに、LDKからデッキ、果樹や小さな築山を配した奥庭、さらに南側の豊岡山へと連なる空間構成は、ご家族の日常に豊かな彩りと広がりをもたらしています。2階では現在、お子さんたちの部屋の整備が進行中。自然・環境との関係や家族の成長を丁寧に編み込んだ住まいづくりの好例です。

優秀賞

新築

【食を彩る別府の家】



作品データ

所在地：別府市
用途：住宅
建築主：西村 尚之
設計者：シーナリーハウス+幸野成一建築研究所
施工者：シーナリーハウス
延面積：150.17㎡

設計趣旨

山並みへ寄り添うよう地形に応えた多層の屋根と、周囲の風景に馴染む焼杉の外観が、この土地に新しい大分の風景をつくる住まいを実現した。各居室は東南方面に広がる山並みの緑を最大限取り込めるよう配置され、外部からの視線が通る北面に大窓はなく、明るく開放的ながらもプライバシーの確立された空間が成立しており、生業場でもある大きな造作キッチンが1階LDKの中心の場となっている。薪ストーブの炎の揺らぎと窓外の豊かな自然を同時に楽しむことができるリビングは自然に溶け込む美しい佇まいと快適な暮らしが両立されている。

選評

緑豊かな山間の住宅地に建つ住宅です。料理人のクライアントということもあって、プロ仕様の厨房と食堂を中心として、居間、和室、テラスを含めた空間全体が、小さなレストランとしても使えるように一体的に計画されています。それとは対比的に、1階奥の勉強や作業の場所、2階角の眺めの良い仕事部屋などの小さな空間も随所にあり、この住宅でのメリハリのある生活がイメージできました。細かな使い勝手や見え方に配慮した家具や建具、丸みを帯びた柔らかな左官仕上げ、自然石の形を生かした玄関の床など、素材の使い方もバランスよく、細かなディテールも秀逸です。こうした積み重ねが、質が高く落ち着いた空間を作り上げています。

優秀賞

リフォーム・
リノベーション

【Haru+】



作品データ

所在地：竹田市
用途：福祉施設
建築主：特定非営利活動法人 TetoCompany
設計者：伊藤憲吾建築設計事務所
施工者：有限会社 川野組
延面積：165.40㎡

設計趣旨

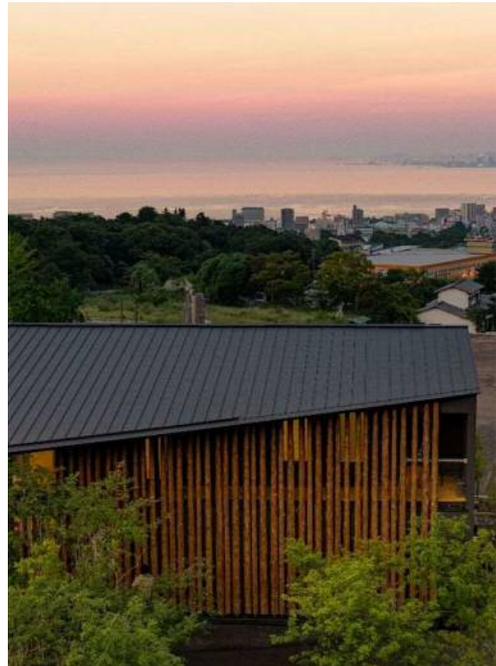
築90年の古民家を改修した福祉拠点「Haru+」。世代や立場の境界を越えて誰もが集える場を目指し、内部に新たな構造フレームを挿入して安全性を高め、瓦の軽量化や桧の浴室更新で心地よさを両立しました。棚やキッチンをDIYで更新できる仕組みにより、使い手とともに成長する「みんなのいえ」として地域に開かれています。

選評

限られた予算の中で、耐震補強をただ“隠す工事”にせず、リフォームのデザインとしてちゃんと見せながら、安心・安全な居場所をつくっているところが本当にすごいです。全部を新築みたいな耐震仕様にしなくても、古民家でもここまでできるんだ、って可能性を見せてくれました。既存の建物の中に、もう一つ構造をつくる——「構造物に構造物を重ねる」という発想が、古民家の佇まいを守りながら性能を上げていて、納得感があります。残したいものを残しつつ、暮らしの安心をきちんと確保した、現実的で希望のあるリノベーションです。

入賞

新築 【HOTEL DO-YA BEPPU】



作品データ

所在地：別府市
用途：ホテル
建築主：菱甲産業 株式会社
設計者：株式会社 隈研吾建築都市設計事務所
施工者：菱甲産業 株式会社
延面積：805.49㎡

設計趣旨

別府湾を目の前にのぞむ丘の上に、地元のヒノキ丸太や大分の特産である竹を用いて、かくれ家のようなホテルをデザインした。親しい仲間とその友人達のためのかくれ家ホテルには、地元の素材をぜいたくに用いたシンプルな暖かさがふさわしいと感じた。別府の地場産業として根付いている竹細工を使った照明や地元の木材を使った家具もホテルのために職人と共にデザインし製作した。各部屋にはワーケーションにも対応できるフレキシブルな間取りを採用し、家でもホテルでもオフィスでもない第三の「業」に挑戦した。

入賞

新築

【久住蒸溜所第3熟成庫】



作品データ

所在地：竹田市
用途：ウイスキー貯蔵庫
建築主：有限会社 津崎商事
設計者：Grandhouse Labo×ORTCO DESIGN 設計共同体
施工者：—
延面積：2307.92㎡

設計趣旨

大分県久住山麓・標高約600mの冷涼な山里に建つウイスキー熟成庫。スパン13.65mの木造平屋に、ダンネージ式の樽保管に呼応した木造トラス架構を表出し、樽列と調和する落ち着いた空間を形成した。荷下ろし場は斜材を活用した5mの庇で作業性と意匠を両立。スギ流通材と既成金物・プレカットで合理的に構成。大規模倉庫を分棟化することで耐火要求を緩和し、前述の構造材を表出させた意匠を成立させた。木の美しさと実用性を最大限に引き出し、地域工務店で再現可能な普遍的技術で成立した木材利用の好例となることを目指した。

入賞

新築

【宇佐の家】



Photo: YASHIRO PHOTO OFFICE



作品データ

所在地：宇佐市
用途：住宅
建築主：個人
設計者：室宏アトリエ
施工者：株式会社 いろは建築技巧
延面積：88.19㎡

設計趣旨

大分県宇佐市に建つ、夫婦と子のための住宅である。敷地北側は、田畑風景が広がる自然豊かな環境であるが、南側は造成により地盤レベルが1m高く住宅が密集しており、見下ろしの視線が気になった。そこでまず、最低限の窓を孔けた壁で内部を囲み周囲から閉じた。次に、敷地の長手方向に切妻の大屋根を掛け、屋根形状に沿ったヴォイドから光が降り注ぐ明るい内部を作った。大きな気積を持つワンルームに対し、個室や間仕切り壁を小さなスケールで点在させ、その間を建具で分割せずに曖昧な場を繋げることで、光と風を共有した。

入賞

リフォーム・
リノベーション

【鶴河内の家】



作品データ

所在地：日田市
用途：住宅
建築主：平川 正博
設計者：松本設計 松本孝充
施工者：株式会社 Knot建築企画
延面積：178.76㎡

設計趣旨

山あいに建つ築40年の木造住宅の部分改修案件である。
建て主は、病気の母のために心地良く、ゆったりと余生を過ごせる居住空間を希望された。
日当りの良い南に面した通し間の和室と広縁を広々としたリビング空間として改修した。
手入れの行き届いた美しい南庭を常に望むことが出来るようにしたことに加え、東側にも
開口部を設け、東庭や池の鯉を眺められるようになり、二方向に緑を感じる事が出来る
心地良い空間になった。
家族の想いも虚しく、母は完成前に帰らぬ人となったが、残された家族が心地良い暮らし
が出来ればと願っている。

入賞

リフォーム・リノベーション 【TAKENAKA HOUSE】



作品データ

所在地：大分市
用途：セカンドハウス
建築主：竹中 真希子
設計者：松田周作建築設計事務所
施工者：箕河原 淳
延面積：106.314㎡

設計趣旨

リノベーションによるセカンドハウスのプロジェクトです。
高台に広がる敷地は、背に竹林を負い、前面に開放的な眺望を抱きます。
外観はファサードのみ手を入れ、既存の輪郭を継承しつつ、内部を暖炉のある(予定)大きな土間を中心としたダイナミックな一室空間へ再編しました。
旧ユニットバスはパントリーに、竹林を望む一室は浴室に、かつての玄関は茶室のような小間へと再生しました。
木工・箕河原淳氏(工房nora)の施工により完成度は極まり、美術家・遠藤ももこ氏らの作品が配され、住まいは静かなギャラリーとなりました。

入賞

インテリア・ファニチャー 【JR柳ヶ浦駅周辺地区整備】



作品データ

所在地：宇佐市
用途：駅舎・駅前広場
建築主：宇佐市
設計者：設計共同体・合同会社 アトリエT-Plus建築 地域計画工房
+株式会社 WAO渡邊篤志建築設計事務所+株式会社 風景工房
施工者：株式会社 奥田組
延面積：駅舎/161.0㎡+シェルター/61.95㎡

設計趣旨

日豊本線柳ヶ浦駅(1897年開業)は、かつて旧機関庫駅として賑わったが、駅前には未整備のため朝夕歩車動線が交錯し、1963年築(RC造)の駅舎は老朽化し閑散としていた。本市では柳ヶ浦駅を学生や子育て世代、高齢者等が利活用できる地域交流の場とする事業を2014年度から約10年かけて進めてきた。JR九州協力の下、ホーム～駅舎、駅前広場までを木質化し、旧駅舎躯体は残しつつ、「待合室」には地元高校生や市民と製作したテーブルやベンチを配置し、木の温もりに包まれ心地良く過ごせる快適な空間にリニューアルした。

入賞

インテリア・
ファニチャー

【上野丘の改修】



Photo:©Yasu Kojima



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：室宏
設計者：室宏アトリエ
施工者：株式会社 是永ホーム
延面積：—

設計趣旨

大分県大分市に建つ築37年の分譲マンション一室の改修計画である。夫婦と猫3匹が暮らす住居兼仕事場として計画された。4階の一室の解体を自身で行う際に、南北に景色と風が抜けることに気が付き、この風を活かすことを計画の主軸とした。仕事場と居住空間を緩やかに分けるため、角度を45°振った箱を中央に配置した。この箱をきっかけに高さを抑えた箱型の家具を複数配置し、猫たちの運動を促す立体的で回遊性のある構成とした。また、温熱環境の改善を図り、外部に面する壁・天井には断熱材を設け、既存サッシには内窓を設置した。

ちょっと一息 ● ● ● 木のコラム

江戸時代末期 築 160 年の民家 遊志庵として見事に再生



Before
30年以上空き家となり朽ち果て樹木に覆われ家が見えない



After
夏は深い軒と土壁、土間のおかげで室内は夏でも蒸し蒸しせずひんやりとしている

佐伯市の海崎にある再生民家「遊志庵」。この建物は江戸時代末期に建てられ築 160 年を超える。オーナー岩佐礼子さんの御祖父さんの生家だ。この民家が再生可能かどうかと探しあてたのが熊本のすまい塾古川設計室の古川保氏だった。古川氏は言う。構造(骨組み)がしっかりしていれば大丈夫だと。床下は全滅だったが、小屋組み(梁組)は 80%、内部は 50% くらいの残存率だった。雨漏りと湿気で天井と床は落ち、朽ち果てている状況を見れば誰もがこの家を再生できるかなど想像できただろうか。岩佐さんの強い希望で再生することとなったが、この家を新築で建てようと思えば、再生にかかった費用よりコストがかかる。さらに、この家の耐久性(耐用年数)を考えたときに決して高くはないということに気がつく。再生にあたっては現代的な筋交いや合板で補強するのではなく、日本の伝統的な土壁を復元し、天井裏にはかんな屑で作った断熱材を入れ、蓄熱性のある土壁と相性の良い輻射暖房の薪ストーブを入れて耐震性と居住性を向上させている。このように日本の伝統建築は修繕を繰り返しながら住み続けることができる。修繕を可能にしているのが柱や梁などの骨組の見える真壁造りであることを忘れてはならない。日本の伝統建築を見れば、それらの構成要素が木の良さを生かしていることに他ならないことに改めて気づかされるのである。

❄️ ❄️ ❄️ ❄️ ❄️ ❄️ ❄️ ❄️ ❄️ ❄️
**木、土、竹、藁、紙、石などの自然素材で構成された
伝統建築は日本の気候風土に培われてきた知恵が随所にちりばめられた結晶**



2025 年 4 月に建築物省エネ法が住宅においても義務化された。遊志庵の壁は断熱材が入っていない真壁の土壁である。これは、国の基準で気候風土適応住宅として認められる。気候風土適応住宅というのは化石燃料がなかったころの日本の伝統建築の良さを受け継いでおり、建築的工夫で外部の環境に応じて柔軟に対応できる要素をたくさん備えている。その一つが、地域の気候風土で育った地域の木材を使うことである。日本の伝統建築から学ぶことは今でもたくさんある。木、土、竹、藁、紙、石などの自然素材で構成されたその建物は、周りの景観に溶け込み、自然素材が役目を終えれば土に還るように、伝統建築もまた役目を終えたときには静かに自然に還る建物なのである。

応募作品

新築部門



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：三重野明良
設計者：株式会社桜住デザイン 佐藤純二郎
三重野工務店 鈴木優子
施工者：三重野工務店 社長 三重野明良
延面積：99.95㎡



作品データ

所在地：竹田市
用途：住宅
建築主：個人
設計者：アトリエ小さな家一級建築士事務所
中園博之
施工者：有限会社本田建設
延面積：116.40㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：寺院 法要会館 庫裡
建築主：宗教法人金剛寶戒寺 代表役員 宗 尊眞
設計者：有限会社エイチエム建築企画室
施工者：株式会社佐伯建設
代表取締役社長 川崎栄一
延面積：453.19㎡



作品データ

所在地：由布市
用途：住宅
建築主：阿南政春
設計者：有限会社エイチエム建築企画室
施工者：有限会社エイチエム建築企画室
延面積：51.32㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：吉村美峰
設計者：アトリエテイク 竹宮浩一郎
施工者：かやしま建設株式会社
代表取締役 萱島加津也
延面積：126.14㎡



作品データ

所在地：由布市
用途：旅館(湯治宿)
建築主：とくなが荘 徳永尚子
設計者：株式会社北條建築事務所
代表取締役 北條豊和
施工者：株式会社平野工務店
代表取締役 平野英壽
延面積：117.60㎡

応募作品

新築部門



作品データ

所在地：由布市
用途：住宅
建築主：医療法人
設計者：株式会社環・設計工房 鮎川透/石橋光男
角建築研究室 角大輔
施工者：株式会社平野工務店
延面積：573.48㎡



作品データ

所在地：日出町
用途：住宅
建築主：個人
設計者：大進建設有限会社 黒谷尚輝
施工者：大進建設有限会社 黒谷尚輝
延面積：128.35㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：社会福祉施設
建築主：社会福祉法人 清流共生会
設計者：東九州設計工務株式会社 仲摩和雄
設工者：株式会社佐伯建設 川崎栄一
延面積：199.51㎡



作品データ

所在地：由布市
用途：住宅
建築主：渡邊英隆
設計者：EMI設計1級建築士事務所 梅木恵美
設工者：藤原工務店 棟梁 藤原剛
延面積：101.00㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：野口浩平
設計者：幸康史・野口浩平
設工者：株式会社幸建設 幸康史
延面積：123.82㎡



作品データ

所在地：別府市
用途：住宅
建築主：西村尚之
設計者：シーナリーハウス+幸野成一建築研究所
設工者：シーナリーハウス
延面積：61.69㎡

応募作品

新築部門



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：高津幸治・仁美
設計者：アトリエテイク 竹宮浩一郎・高山鮎美
設工者：株式会社リクラス 代表取締役 浦松強八
延面積：163.23㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：個人
設計者：日本ハウジング株式会社
設工者：日本ハウジング株式会社
延面積：97.71㎡

リフォーム・リノベーション部門



作品データ

所在地：別府市
用途：事務所
建築主：大野 仁
設計者：ストックバウム
設工者：ストックバウム
延面積：46.08㎡



作品データ

所在地：別府市
用途：住宅
建築主：池辺伸一
設計者：桑田環境デザイン 桑田一敏
設工者：株式会社幸建設 代表取締役 幸 孝文



作品データ

所在地：大分市
用途：オフィス
建築主：TMエンタテインメント
設計者：松田周作建築設計事務所・松田周作
施工者：有限会社荻田工務店
延面積：357.80㎡



作品データ

所在地：玖珠町
用途：店舗
建築主：玖珠町
設計者：大分県立芸術文化短期大学インテリア
デザイン履修者7名+松田周作(協力者)
施工者：有限会社フェイス・エフ

応募作品

インテリア・ファニチャー部門



作品データ

所在地：大分市
用途：道の駅
建築主：大分市
設計者：株式会社大有設計 高橋大介
施工者：株式会社佐伯建設 川崎栄一
延面積：2775.51㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：ベンチ
建築主：OKEC別府市
設計者：建築家を志す学生13名
+松田周作(協力者)
施工者：建築家を志す学生11名+上野建設



作品データ

所在地：大分市
用途：事務所
建築主：大分県施設農業協同組合連合会
設計者：JA全農九州一級建築士事務所
施工者：梅林建設株式会社
延面積：6844.74㎡



作品データ

所在地：臼杵市
用途：事務所
建築主：大分県農業協同組合
設計者：JA全農九州一級建築士事務所
施工者：旭産業株式会社
延面積：928.71㎡



作品データ

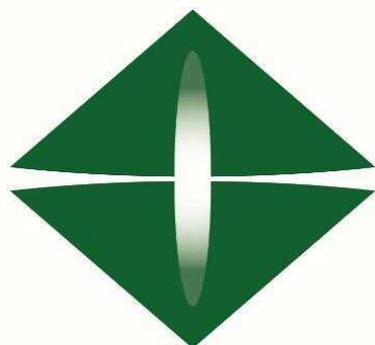
所在地：豊後大野市
用途：トレーラーサウナ
建築主：LAMP豊後大野 支配人 高橋ケン
設計者：伊藤憲吾建築設計事務所 代表 伊藤憲吾
施工者：山佐木材株式会社
代表取締役社長 有馬宏美
延面積：3.26㎡

発行

大分県木造住宅等推進協議会
(大分県土木建築部建築住宅課内)
〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
TEL 097-506-4677
FAX 097-506-1779
MAIL a18500@oita.pref.lg.jp

協議会会員

公益社団法人大分県建築士会
大分県木材協同組合連合会
一般社団法人大分県建設業協会
大分県建設組合連合会
大分県建設合同労働組合
一般社団法人大分県建築士事務所協会
大分県職業能力開発協会
大分県森林組合連合会
大分県地域づくり機構(大分県住宅供給公社)
公益社団法人日本建築家協会九州支部大分地域会
大分県農林水産部林産振興室
大分県土木建築部施設整備課
大分県土木建築部建築住宅課



Oita
Wood
Architecture
Award
2025

おおいた木の良さを生かした建築賞